

5 本時の指導

(1) 目標 身に付けさせたい3つの力を焦点を絞って1つか2つ入れる。

(評価計画の観点と一致するようにする。)

(教師が望む生徒の姿が分かるように)

~しようとする。(観点名)

~することができる。~を通して、~ができる。(観点名)

~について理解することができる。(観点名)

(2) 準備・資料

(3) 展開

生徒に身に付けさせたい3つの力(学ぶエネルギー・意思決定能力・「ひと、もの、こと」とかかわる力)に焦点をあてて、展開の工夫を図る。

展開の書き方は、この形式にとらわれず、オープン形式でもかまわない。

(フローチャート的なものや、図式化されたものさまざまな考え方ができる。)

評価についてはそれぞれわかりやすく区別しやすい表記がよいので、前回関プロのように、脇に縦で書くという方法も考えられる。ただし、分かる範囲ならばそのことには特にこだわらない。

評価には、必ず「観点」「評価方法」を書く。

展開はこの枠にこだわらず、授業内容が理解しやすい表記とする。

学習内容・活動	指導・評価 (学ぶエネルギー 意思決定能力 ひと・もの・こととかかわる力)
<p>1 本時の学習課題を知る。 学習課題 ~を考えよう。(生徒の立場) ~を知ろう。 ~をしよう。 (前時とのつながり)</p> <p>2 ~をする。 (1) 明確な順序性がある場合 (2)</p> <p>3 ~をする。 ・ 順序性にこだわらない内容 ・</p> <p>4 ~をする。</p> <p>5 本時のまとめをする。 (次時につながるように)</p>	<p>(記述の例) ~を通して ~を使って ~できるように ~わかるように ~するように ~説明する。 ~示範する。 ~提示する。 ~助言する。 (具体的な手だてを記述する。)</p> <p>(記述の例) ・ ~の生徒には~できるように~する。 (具体的な手だてを記述する。) (特にC評価がつきそうな場合、B評価に上げるための具体的な支援の手だてを盛り込みたい。) (実習の場合、必ず安全面について指示する)</p> <p>(記述の例) (評) ~しようとする。(評価方法：観点) (評) ~ができる。 ~がわかる。 (ワークシート：知識・理解)</p>